



ソルクシーズ IoTによる見守り支援システム「いマイルモ」 川崎市の研修「福祉用具・介護テクノロジー」で展示されました

株式会社ソルクシーズ(本社:東京都港区、代表:秋山博紀、以下 ソルクシーズ)の見守り支援システム「いマイルモ」(以下、「いマイルモ」)が、2025年2月に川崎市で開催された「令和6年度福祉職員向け研修 福祉用具・介護テクノロジーの活用方法」にて、先進的な介護テクノロジーソリューションとして展示されましたのでお知らせいたします。

【背景】

「いマイルモ」は、横浜市総合リハビリテーションセンターが運営する横浜市福祉機器支援センターの福祉用具の展示・シミュレーションにて常時展示されているソリューションです。横浜市総合リハビリテーションセンターからのご紹介により、川崎市の総合研修センターで実施された本研修に「いマイルモ」を展示する機会をいただきました。研修に参加した川崎市内在住・在勤の保健・福祉関係者は、リハビリテーション科医師や理学療法士による「福祉用具・介護テクノロジーの活用方法」をテーマとした講義から、専門的な知見と実践的なノウハウを学びました。参加者の様子から、介護テクノロジーへの高い関心がうかがえました。

【研修開催概要】

「福祉用具・介護テクノロジーの活用方法」

日時:2月4日(火)13時30分~16時30分

会場:川崎市総合研修センター研修室

主催:社会福祉法人川崎市社会福祉協議会総合研修センター

対象:川崎市内在住・在勤の福祉・保健関係者



ソルクシーズは今後も、IoT技術を活用したソリューションの開発と提供を通じて、福祉分野におけるIoT活用の可能性を追求してまいります。また、利用者の自立支援とプライバシーに配慮した次世代見守りシステムの開発を進め、高齢者や障がい者の方々が住み慣れた環境で安心して暮らせる社会の実現に向けて、技術革新と社会実装の両面から取り組んでまいります。

【IoTによる見守り支援システム「いマイルモ」とは】

2013年にスタートしたIoTによる見守り支援システム「いマイルモ」は、多機能センサーから得た日々の行動をデータ化し、兆候を“見える化”するためのシステムで、独り暮らしの見守りをはじめ、高齢者住宅、介護施設など様々なシーン向けにカスタマイズし、“いマイルモシリーズ”としてご提供しております。

【見守り支援システム「いマイルモ」に関するお問い合わせ先】

担当:IoT 事業推進室 六角(むすみ)、竹田
TEL: 03-6722-5019 FAX: 03-6722-5079
メールアドレス:support@imairumo.com
ホームページ:<https://www.imairumo.com/>

【会社概要】

会社名 : 株式会社ソルクシーズ
所在地 : 〒108-0023 東京都港区芝浦 3-1-21 田町ステーションタワーS 13F
代表者 : 代表取締役社長 秋山 博紀
設立 : 1981年2月
資本金 : 14億9,450万円(2024年12月末日現在)
事業内容 : SI/受託開発業務(システムコンサルティング、システムの設計・開発・運用・保守)、ソリューション業務(セキュリティコンサルティング、パッケージシステムの開発・販売・保守)及び関連機器の販売等
ホームページ : <https://www.solxyz.co.jp/>

ソルクシーズグループは、
『お客様の業務改革を支えるのは、大胆で独創的な発想力、そして、迅速な対応力』を
モットーに、お客様の夢を実現するソリューション・カンパニーを目指しています。

	本リリースに関するお問い合わせ先 株式会社ソルクシーズ 経営企画室 TEL: 03-6722-5020 FAX: 03-6722-5021 Mail: ir-post@solxyz.co.jp ソルクシーズイメージキャラクター
---	--